

みんなで若者等活動拠点施設整備 について考えてみませんか

施設整備の目的

市では、まちなかの良好な景観の創出や回遊性の向上、地域の活性化、持続可能なまちづくりに向けた事業のひとつとして、古い町並の下町エリア（秋の高山祭の区域）に、平成32年春オープンを目標に若者等活動拠点施設整備の検討をすすめています。

この施設整備は、次代を担う若者たちが地域でいきいきと暮らし、活動することを通じ、飛騨高山に誇りと愛着を育むとともに、伝統的建造物群保存地区および周辺の景観に配慮された美しい町並みの維持を目指すものです。

候補施設

下二之町大新町伝統的建造物群保存地区および周辺の使用されていない町家等を中心に候補施設の検討を行った結果、旧村田邸（下二之町6番地）を候補施設として選定しました。

今後、地域や若者等関係する方々と実現に向けた話し合いを行うこととしています。

〈候補施設〉旧村田邸



明治初期に繭の卸業「村半」の店舗兼住宅として建築（推定築140年）

候補施設 位置図



施設の活用例

若者がやりたいことや願っていることを重視し、若者からの意見聴取や話し合いを積み重ね、今後、具体化していく予定です。なお、現時点で想定される活用例は、次のとおりです。

※活用例

- ・ 高校や大学などのフィールドワークの拠点、サテライトキャンパス
- ・ 若者が趣味やサークル活動を行い、発表する場
- ・ 若者がさまざまな人と出会い、つながり、交流する場
- ・ 地元の学校や教育旅行の児童・生徒のまち歩き拠点
- ・ 若者が古い町並において、伝統文化や四季の暮らしを体験する場

〈募集〉整備内容等について 一緒に考えてみませんか

整備前の構想段階から大学生や地元高校生をはじめとする若者の参加を得るなど、市民・専門家・地域・行政が一体となって建物改修（ハード）、整備後の企画・運営（ソフト）の両面について検討をすすめます。

市では、この取組に賛同し、参加いただける若者や、若者の取組を応援していただける市民の皆さんを募集します。詳しくは下記のとおりです。

若者等活動拠点施設を 一緒に考えるメンバー募集

●対象者

原則、市内に在住、在学または在勤の方（中学生以上）

※今後、市からご案内する検討の場に参加いただく予定です。

●応募方法

11月15日(水)までに来庁・郵送・FAX・MAIL（所定の申込用紙に氏名、住所、電話番号を明記）

※申込用紙は、企画課（本庁4階）または市HPより取得してください。

申込先 企画課 ☎35-3131 FAX35-3174
Mail:kikaku@city.takayama.lg.jp
広報ID 1008788

関連講座

みんなで考える下町デザイン講座

回	テーマ・講師	日時	場所
1	「毎日が発見の連続！ 歩くのが楽しい下町エリア」 横浜国立大学 野原卓准教授	11月4日(土) 午後2時～4時30分	高山信用金庫本店（下一之町）
2		11月5日(日) 午前10時～正午	下町エリア（フィールドワーク）
3	「下町で過ごす、暮らす、商う」 横浜国立大学 野原卓准教授	12月16日(土) 午後2時～4時30分	高山信用金庫本店（下一之町）
4		12月17日(日) 午前10時～正午	下町エリア（フィールドワーク）
5	「みんなで下町の将来の姿を考えよう」 東京大学 西村幸夫教授 横浜国立大学 野原卓准教授	平成30年1月7日(日) 午後2時～4時30分	高山信用金庫本店（下一之町）

●対象 原則、市内に在住、在学または在勤の方

●定員 20人程度（若者を優先させていただきます）

●参加料 無料

●申込方法 10月25日(水)までにFAX・MAIL（氏名、住所、電話番号等を明記）

申込先 （一財）飛騨高山大学連携センター ☎57-5366 FAX57-5377
Mail:hidatakayama@renkei-center.jp

